

基本構想の尊重を

苦小牧 市民ホール建設検討委員会

建設候補地で意見交換

苦小牧市の新たな複合施設「市民ホール(仮称)」の建設検討委員会は23日、苦小牧市役所で今年度5回目の会合を開いた。市が今年度中に公表する建設候補地に関して同委員会でも議論し、2015年度に作った市民ホール基本構想で明記した「親近感と愛着が持てる憩いのプラザ(公共の広場)」などの考え方を尊重するように求めた。

市では現在、市議会での議論などを踏まえて、中心部をベースに現市民会館跡地や東中学校敷地内に移転する東小



建設候補地などについて議論した市民ホール建設検討委員会

学校跡地、旧エガオビル跡地、総合体育館南側の4カ所について、建設地の可能性を探る作業に着手している。

検討委では建設候補地選びに当たり、▽市有地であるか▽法令上の制限は▽現市民会館と比べて敷地面積の広さ▽駐車台数の確保▽建設工事中の各種行事への影響▽公共交通機関の利便性の六つの項目について、評価結果を事務局が報告した。

委員からは、15年度に策定した基本構想を踏まえ、複合施設が建設できる広さの確保や市内東西から誰もが気軽に集える立地などについても評価する必要性が指摘された。

市では今年度中に建設候補地を固める方針で、17年度中に同検討委での議論を経て策定する基本計画にも盛り込まれる。